



ナスの種を植えたらナスの芽が出てきます、アサガオの種を植えたらアサガオの芽が出てきます。あたり前ですよね。そして、目に見えない種というのもあるんです。優しさという種を植えたら、優しさの芽が出て、必ず自分に優しさが戻ってきます。

不思議なことに、その人からではなくても、他の人から必ず戻ってきます。それが「人柄」というもので、逆に人をいじめたら自分にいじめが返ってくるし、人を悲しめたら、自分が悲しいこととして返ってきます。その時の3年生は、多くの人が泣いていました。何か心が温まった気がしたとも言っていました。自分たちがしてあげた、というより、逆に自分たちがしてもらった、という感覚でした。これは、人に優しくして、優しさが返ってきた経験でしか得られない感覚だと思います。だから、皆さんには、「人に優しく、人を笑顔にできる人になってほしい」と思っています。まずは、自分のすぐそばにいる人、家族に優しさを配って（ただし、自分が磨かなくてはいけ、自分の心が豊かになた気にならねば。）



この時期に 思うこと...

先週、卒業式があり、3年生を送り出しました。新型コロナウイルスの対応のため高校入試が早まり、その関係上卒業式もコロナ以前に比べ、1週間も早く行われるおに

なりました。そう、本来なら今日が卒業式だったはずですが、この時期に、脳裏に焼きついて
いるのは12年前の卒業式の日です。あの年は、県内の多くの中学校の卒業式が3月11日でした。卒業式もお礼後片付けをして職員室に戻り、TVのニュースに流れていた映像は、今でも忘れ
られません。その当時、勤めていた中学校の生徒会の一番最初の取組が「支援活動
となりました。たいしたものが送れるはずもなく、使い捨てカイロに、メッセージを書いた付箋紙を
貝占り付けて、ボランティア団体に送りました。「カイロつくらいもら、でも、喜ばすかな？」と
生徒たちは思いながら、何かできることは...と考えた支援でした。

2年後...カイロを送った時の1年生が3年生になった時でした。東北のボランティアの方が、お
礼が熊本まで挨拶に来られました。その時送ったカイロのお礼でした。カイロをもった方々
は付箋紙に書いてあったメッセージを、2年た、たその時でも、テレビの下に見ると、
『毎日これを見ながら生活しているんだ』『代わりにお礼を言ってきたさ』...
などとおっしゃっていたそうです。こねさ...と思っていたことが、実はその方々の生きる原動力
になっていたなんて、その時初めて知りました。たとえば、としたことでも、相手にとっては

大きなことで、とても影響を与えることができるということに
気がさせられました。何が言いたいかというと、人に優しくできる
という事は、とても大切なことなんだということ。♪



学校
活動の

ご理解と ご協力、ありがとうございます!!



もう1年が過ぎようとしております。保護者の皆様や、地域の方々には、様々な行事や活動にご協力いただきありがとうございました。

色々思うところはあたかと思いますが、どんな場面でも厚意的に協力していただき、本当に助かりました。新年度は、また新たなコロナ対応の年になると思います。状況によって対応が変わってくるかと思いますが、よろしく願ひいたします!!

なお来年度に向けて、保護者や地域の方々の「意見を参考にさせていただきますので、右のQRコードから返信をお願いいたします。特に起業体験(キャリア教育)、運動会、家庭訪問、授業参観、など行事についてご意見があると検討できますので助かります。よろしく願ひいたします!!

